

平成25年5月31日

各位

株式会社 徳 ・ 株式会社傳六
ノリックス株式会社 ・ 有限会社和公
代表取締役 鷺岡和徳

前略、今月も業務に専心いただきありがとうございます。

現在は仕事の方も各店舗ともに繁忙期が終了し、今まで忙しさのために出来なかった店舗ごとの管理の見直しやメニューのリニューアル、お客様満足と業務効率化を目的とした現場改善を進めています。また個人的には、7月から始まる平成25年度の経営計画も推敲しています。

先日、台北に社員の皆さんと行ってきました。普段話をしない若い方と一緒に観光地を廻り、皆と一緒に食事とお酒をいただき、とてもいい学びと時間を過ごすことが出来ました。

台湾に行くといつも思うのは、大陸とは違い日本人に対してとても親切で友好的であるということです。ご存知の通り戦前の日本は台湾を統治していました。日清戦争に勝利してからなので50年以上となります。当時の台湾人は、日本語はもちろんのこと日本の文化風俗を身につけることを余儀なくされました。しかしながら、この台湾統治は歴史的にも見事な面が多いといわれ住民のためにつくした日本人が驚くほど多くいたことが伝承されています。その代表的な人物が満鉄初代総裁、逓信大臣、内務大臣、外務大臣をつとめボーイスカウト日本連盟初代総裁を務められ関東大震災の直後に帝都復興院総裁として我が国の復興計画を立てられた**後藤新平氏**です。彼が台湾総督府民政長官であったとき鉄道や港湾、道路などの交通網の整備などのインフラ整備や縦横鉄道の敷設やスケールの大きな建造物の建設などの近代化に尽力し、今の台湾の基礎を作る手助けをしたと聞き及びます。そのおかげで2014年3月の調査で70歳～85歳の植民地支配を受けた経験のある人の59%が日本に親近感を持っていると答えています。その後藤新平の人生信条の中に

「人のお世話にならぬよう 人のお世話をするように そして報いを求めぬよう」

という言葉があります。私もプライベートではこの信条を範に人生を健やかに歩みたく思います。

【徳の経営理念】

「私たちはお客様のために常に新しいことに挑戦し、食生活に**新たな価値**を創造しつづけます。」

【徳のモットー】

「一膳入魂」～うまい料理は世の為、人の為～

すべては自分のために。

すべてはお客様のために。

すべては会社のために。

すべては社会のために。

来月も一緒に頑張りましょう

草々